平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場会社名　株式会社アドテック プラズマ テクノロジー　　上場取引所　東
コード番号　6668　URL　http://www.adtec-rf.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井 修逸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長　(氏名) 中山 浩之　TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日　平成24年4月13日　配当支払開始予定日　平成24年4月23日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	2,378	△2.3	179	△36.9	165	△34.8	71	△50.8
23年8月期第2四半期	2,434	28.1	284	―	254	―	145	―

(注)包括利益　24年8月期第2四半期　127百万円　(△4.7%)　23年8月期第2四半期　134百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	8,349.94	―
23年8月期第2四半期	16,972.83	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	5,121	2,337	44.1
23年8月期	5,297	2,218	40.9

(参考) 自己資本　24年8月期第2四半期　2,258百万円　23年8月期　2,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	―	1,000.00	―	1,000.00	2,000.00
24年8月期	―	1,000.00			
24年8月期(予想)			―	1,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,082	△22.7	124	△76.7	42	△90.8	△29	―	△3,433.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期2Q	8,586 株	23年8月期	8,586 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	2 株	23年8月期	2 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期2Q	8,584 株	23年8月期2Q	8,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興に伴い経済活動は緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら一方で、欧米諸国の財政問題を背景とした円高の長期化や、タイで発生した洪水による企業の生産活動への影響等、先行きに対する不透明感が強まる状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループの主たる事業領域である半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、引き続きスマートフォンやタブレットPCなどの需要は拡大傾向にあるものの、パソコンや液晶テレビの需要の低迷等により、各関連メーカーの多くに設備投資抑制の動きがみられました。

このような事業環境の中、当社等は、主要製品である高周波電源の一層の市場シェア拡大を重点に置き、積極的に幅広いお客様への製品ＰＲを実施するなど、よりきめ細かい営業活動を展開したものの売上高は低調に推移いたしました。

研究機関・大学関連事業（ＩＤＸ）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷、また海外向けの製品出荷の増加等があったことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,378,905千円（前年同期比2.3％減少）、営業利益は179,705千円（同36.9％減少）、経常利益は165,691千円（同34.8％減少）、四半期純利益は71,675千円（同50.8％減少）となりました。

当第２四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

項目	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
	金額（千円）	金額（千円）
売上高	2,434,763	2,378,905
売上総利益	868,119	791,984
営業利益	284,608	179,705
経常利益	254,067	165,691
四半期純利益	145,694	71,675

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォンやタブレットPCなどの需要は増加したものの、液晶テレビ等の需要低迷に伴い、各関連メーカーで設備投資抑制の動きがあったことから、売上高は1,671,692千円（前年同期比12.6%減少）、営業利益は77,437千円（前年同期比71.7%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（ＩＤＸ）におきましては、研究機関及び医療機関への大型案件の出荷等があり、また当該大型案件のコスト改善の実現により、売上高は707,213千円（前年同期比35.5%増加）、営業利益は102,676千円（前年同期比840.0%増加）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

項目	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）		当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
半導体・液晶関連事業（当社等）	1,912,932	273,956	1,671,692	77,437
研究機関・大学関連事業（ＩＤＸ）	521,830	10,923	707,213	102,676
合計	2,434,763	284,880	2,378,905	180,113

注１．売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。
２．営業利益は、各セグメントの営業利益を表しております。

（注）文中表記について
（当社等）
当社、Adtec Technology,Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co.,Ltd.及びHana Technology Co.,Ltd.　を表しております。
（ＩＤＸ）
株式会社ＩＤＸを表しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報
①　資産、負債及び純資産の状況
当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金、仕掛品の減少等により、前連結会計年度末と比較して176,282千円減少し、5,121,124千円となりました。
当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金及び長期借入金、買掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して295,477千円減少し、2,783,615千円となりました。
当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比較して119,195千円増加し、2,337,509千円となりました。
②　キャッシュ・フローの状況
当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて413,098千円増加し、当第２四半期連結会計期間末は1,124,175千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動の結果獲得した資金は688,095千円（前年同期は64,431千円の獲得）となりました。
これは、主に税金等調整前四半期純利益156,717千円、売上債権の減少額452,512千円等の資金増加要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動の結果使用した資金は8,393千円（前年同期は27,237千円の使用）となりました。
これは、主に有形固定資産の取得による支出18,097千円等の資金減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果使用した資金は289,012千円（前年同期は102,820千円の使用）となりました。
これは、主に短期借入金の純減少額260,000千円、長期借入金の返済による支出319,776千円等の資金減少要因、長期借入れによる収入300,000千円の資金増加要因によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の景気の見通しにつきましては、東日本大震災の被害から回復基調にはあるものの、世界的な景気の減速、円高進行に伴う企業収益の悪化等が懸念されることから、先行きが不安定な経済環境が続くものと予想されます。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン、タブレットPCなどの継続的な需要増加は期待されるものの、薄型テレビ市場の低迷に伴う設備投資計画の大幅な延期、また半導体市場における、DRAMやNAND型フラッシュメモリーなどのメモリーへの投資が引き続き落ち込むことが予想されます。

このような状況の中、海外生産及び新規設計によりコストダウンをした高周波電源等を提供していくとともに、いま現在、開発途中にあるリモートプラズマ装置の早期製品化に向けて事業活動を実施してまいります。

研究機関・大学関連事業（ＩＤＸ）におきましては、研究機関で持ち上がっている大型のプロジェクト計画に関する受注拡大及び売上の拡大を目指し、また、海外からの材料調達かつ設計見直しによる製品コストの削減に努めてまいります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,077	1,264,175
受取手形及び売掛金	1,456,815	1,002,531
製品	339,656	465,365
仕掛品	951,029	754,142
原材料及び貯蔵品	681,904	759,114
繰延税金資産	33,279	17,699
その他	115,246	67,772
貸倒引当金	△3,176	－
流動資産合計	4,435,831	4,330,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,045,280	1,052,426
減価償却累計額	△579,622	△597,527
建物及び構築物（純額）	465,658	454,898
車両運搬具	17,417	17,419
減価償却累計額	△10,301	△11,784
車両運搬具（純額）	7,116	5,635
工具、器具及び備品	674,366	629,712
減価償却累計額	△472,138	△485,402
工具、器具及び備品（純額）	202,228	144,310
土地	65,926	65,926
建設仮勘定	503	135
有形固定資産合計	741,432	670,905
無形固定資産	44,234	44,820
投資その他の資産		
投資有価証券	28,333	26,076
繰延税金資産	1,918	2,097
その他	65,566	66,333
貸倒引当金	△19,909	△19,909
投資その他の資産合計	75,908	74,596
固定資産合計	861,574	790,322
資産合計	5,297,406	5,121,124

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	219,955	191,904
短期借入金	1,160,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	550,546	563,374
未払法人税等	12,064	44,711
役員賞与引当金	6,500	―
その他	110,885	87,893
流動負債合計	2,059,951	1,787,883
固定負債		
長期借入金	934,364	901,760
資産除去債務	69,641	70,250
その他	15,135	23,721
固定負債合計	1,019,141	995,731
負債合計	3,079,092	2,783,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	601,721	664,813
自己株式	△384	△384
株主資本合計	2,345,095	2,408,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,903	△2,205
為替換算調整勘定	△168,361	△147,866
その他の包括利益累計額合計	△177,265	△150,071
少数株主持分	50,483	79,393
純資産合計	2,218,314	2,337,509
負債純資産合計	5,297,406	5,121,124

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
売上高	2,434,763	2,378,905
売上原価	1,566,643	1,586,920
売上総利益	868,119	791,984
販売費及び一般管理費	583,510	612,278
営業利益	284,608	179,705
営業外収益		
受取利息	568	508
受取配当金	140	145
デリバティブ評価益	294	154
受取手数料	4,352	5,291
補助金収入	－	1,128
貸倒引当金戻入額	－	3,176
その他	1,870	6,374
営業外収益合計	7,225	16,779
営業外費用		
支払利息	18,192	16,204
たな卸資産廃棄損	12,331	2,790
為替差損	3,752	8,078
その他	3,490	3,721
営業外費用合計	37,766	30,794
経常利益	254,067	165,691
特別利益		
固定資産売却益	2,045	－
特別利益合計	2,045	－
特別損失		
固定資産除却損	403	124
投資有価証券評価損	－	8,218
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,309	－
投資有価証券売却損	－	630
特別損失合計	28,712	8,973
税金等調整前四半期純利益	227,400	156,717
法人税、住民税及び事業税	25,623	42,204
法人税等調整額	56,584	13,925
法人税等合計	82,207	56,130
少数株主損益調整前四半期純利益	145,192	100,587
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△502	28,911
四半期純利益	145,694	71,675

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益	145,192	100,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△332	6,698
為替換算調整勘定	△10,720	20,495
その他の包括利益合計	△11,052	27,193
四半期包括利益	134,139	127,780
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,641	98,869
少数株主に係る四半期包括利益	△502	28,911

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	227,400	156,717
減価償却費	38,999	41,914
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,176	△3,176
受取利息及び受取配当金	△708	△653
支払利息	18,192	16,204
為替差損益（△は益）	4,593	△2,296
投資有価証券売却損益（△は益）	－	630
投資有価証券評価損益（△は益）	－	8,218
固定資産除却損	403	124
有形固定資産売却損益（△は益）	△2,045	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28,309	－
売上債権の増減額（△は増加）	57,073	452,512
たな卸資産の増減額（△は増加）	△308,388	10,889
仕入債務の増減額（△は減少）	33,897	△32,445
その他	17,589	55,695
小計	118,493	704,336
利息及び配当金の受取額	662	623
利息の支払額	△17,066	△15,741
法人税等の支払額	△37,900	△16,455
法人税等の還付額	241	15,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,431	688,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	－	10,000
有形固定資産の取得による支出	△24,260	△18,097
有形固定資産の売却による収入	2,180	－
無形固定資産の取得による支出	△622	△375
投資有価証券の売却による収入	－	260
貸付けによる支出	△5,034	－
その他	499	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,237	△8,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△25,000	△260,000
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△377,197	△319,776
リース債務の返済による支出	△505	△620
配当金の支払額	△118	△8,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,820	△289,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,027	22,409
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△82,654	413,098
現金及び現金同等物の期首残高	904,003	711,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	821,349	1,124,175

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年９月１日　至　平成23年２月28日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高					
外部顧客への売上高	1,912,932	521,830	2,434,763	－	2,434,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,289	4,097	25,386	△25,386	－
計	1,934,222	525,928	2,460,150	△25,386	2,434,763
セグメント利益	273,956	10,923	284,880	△271	284,608

（注）１．セグメント利益の調整額△271千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年９月１日　至　平成24年２月29日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高					
外部顧客への売上高	1,671,692	707,213	2,378,905	－	2,378,905
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,680	150	51,830	△51,830	－
計	1,723,372	707,363	2,430,736	△51,830	2,378,905
セグメント利益	77,437	102,676	180,113	△407	179,705

（注）１．セグメント利益の調整額△407千円は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。